

作成日： 令和 5 年 7 月 1 4 日

令和 5 年度第 4 回 高松圏域自立支援協議会 運営部会議事録

日付	令和 5 年 7 月 1 4 日
時間	9 時 20 分～10 時 50 分
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター第 1 研修室
参加機関等	香川中部支援学校 高松支援学校 直島町住民福祉課 就労支援部会) かがわ総合リハビリテーションセンター成人支援施設 障害者就業・生活支援センターオリーブ 精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと 相談支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ 身体障害者支援部会) 障害者生活支援センターあい 知的障害者支援部会) 相談支援センターりゅうん (9 : 20 - 10 : 00 の間の参加) 発達障害部会) 発達障害者支援センター「アルプスカガワ」(10 : 30 までの参加) こども部会) 地域生活支援センターこだま 医療的ケア部会) 一般社団法人 garyu 当事者団体・家族会連絡会) 相談支援事業所ライブサポートセンター 居宅サービス事業所連絡会) 地域活動支援センタークイマ B 型事業所連絡会) 会長、事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計 16 名

議題 1 : 災害時対応について

議事	資料にもとづき 6 月検討会の報告。 意見 ・個別具体的なプランが必要になってくる。 ・モデルとして取り組み始めているが、これを参考に、自主的に取り組んでいくためにどう浸透させていけば良いか。数年かけて、災害時のことを検討することが当たり前になるように浸透させていくことが必要ではないか。 ・各部会内でも共有してほしい。 ・現モデルのなかで了承いただいた方にうけてさらに進めていくことも考えられるし、新しいモデルを募ることも考えられる。
----	--

議題 2 : 各部会活動報告

議事	資料に基づき各部会より報告あり。 意見 ・相談支援専門員が退職する等、新規ケースを受けにくい状況が起きている。 ・児童の新規ケースが多く、相談支援も放課後デイ事業所も受け入れが難しい状況が起きているが、まだ何とか見つかっている。 ・医療的ケアが必要な重度な児童を受け入れる事業所が必要。
----	--

議題 3 : 地域生活支援拠点、権利擁護について

議事	資料に基づき報告。 ・高松市緊急時支援事業実績の報告 判定会議実施数 H30年 6件・R1年 3件・R2年 4件・R3年 2件・R4年 0件 ・共同生活援助事業を対象にした地域移行状況調査について ・権利擁護について
----	--

議題 4 : 事務局より

議事	令和 5 年度四国ブロック主任研修について 収支について 福祉計画について
----	---

災害時モデルケース一覧（簡易版）

No.	住居地	リスク	担当	障がい	部会モデル
1		洪水 2 m 高潮 2 m	支援センター たかまつ	・身体障がい	身体障害者支援部会
2		高潮 1m	支援センター りゅううん	・知的障がい ・身体障がい	知的障害者支援部会
3		洪水 0.5m 高潮 2m	支援センター りゅううん	・精神障がい ・知的障害疑	精神保健福祉部会
4		洪水 1m 高潮 2m	ウエルネスサ ポート	難病	相談支援部会
5		洪水 0.5m 高潮 2m	フリーダム	兄：発達障害・ ADHD 弟：発達障害・ ADHD	こども部会(サ ービス利用有)
6		洪水 5m 高潮 3m	こだま	知的障がい	こども部会 (サービス利 用無)
7		洪水 0.5m 土砂災害 高潮 1m	基幹中核	精神障がい	基幹
8		洪水 0.5m	自立ケアシス テム	身体障がい	災害弱者ネッ トワーク

たかまつ

災害時モデルケース検討会スケジュール

◎検討会目的 モデルケース担当者同士で横の繋がりをつくり進捗状況を共有したり情報交換を行うことで、より効果的な進捗を目指す。定期的に関係機関、行政とも場を共有することで、課題の共有、意見交換をこなそう。

◎参加者（敬称略/順不同）

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> モデルケース担当 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者生活支援センターたかまつ ・ 障害者相談支援センターりゅうらん ・ 相談支援センターフリーダム 関係機関、行政 <ul style="list-style-type: none"> ・ 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 ・ 高松市社会福祉協議会地域福祉課 ・ 障害者生活支援センターたかまつ ・ 高松市健康福祉総務課 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者相談支援センターりゅうらん ・ 相談支援事業所ウェルネスサポート ・ 地域生活支援センターこだま ・ 特定非営利活動法人自立ケアシステム香川 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者地域生活支援センターほっと ・ 高松市障がい福祉課 ・ 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 |
|--|--|

◎スケジュール

6月	7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 事務局よりこれまでの取り組みと今後の流れ説明 ・ ケース担当者同士で概要を紹介し合い同意取得の際の情報交換 ・ アセスメントに向けて ・ その他情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (あらためて自己紹介) ・ その後の進捗状況確認 ・ 計画の作成、担当者会に向けて ・ その他情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その後の進捗状況確認 ・ 避難に関する体験に向けて ・ その他情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・ その後の進捗状況確認 ・ 振り返り ・ その他情報交換

第1回災害時対応モデルケース検討会

日時:①R5.6.19(月)9:30~11:00

②R5.6.21(水)9:30~11:00

場所:福祉コミュニティセンター高松東館 2F 会議室

参加者

①高松市社会福祉協議会地域福祉課、障害者地域生活支援センターほっと、地域生活支援センターこだま、障害者生活支援センターたかまつ、相談支援センターフリーダム 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

②障害者地域生活支援センターほっと、障害者生活支援センターたかまつ、相談支援事業所ウェルネスサポート、障害者相談支援センターりゅううん、自立ケアシステム香川 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

1. 自己紹介

福祉避難所がきちんと機能するような取り組みを今年度から2年かけて計画(社協)

2. これまでの取り組みと今後の流れについて

自立支援協議会運営会議の中において、災害時に関する取り組みを取り上げ、部会を超えて社会福祉協議会地域福祉課、難病のご担当の方等を招聘して、モデルケースを取り上げることにした。

白の“災害なし”以外を対象とし、部会、災害弱者NW、基幹から選定することとした。

アセスメント取得→計画作成→担当者会議→避難訓練の実施等

全ケースの情報を共有しあって、進めていく。

同意書の説明。資料5~7ページは見、8~10ページは者。

今後の検討会のスケジュール確認。今検討会の目的は、ケースの担当者同士での繋がり作りと、行政との課題共有。

6月は同意取得とアセスメントシートの説明。7月は計画の作成、担当者会議。8月は避難訓練の体験、9月は振り返りを実施し、その後運営会議に報告し、今後の進め方を検討する。

新しい動きとして、平常時に災害時の計画を策定した場合、1名につき7000円が支払われるという方向性を国が示しているため、今後市もその動きになると思われる。そのためにはモデルケースを示すことで、その後の動きについてのモデルともなるだろう。

水害が事前に準備をして、避難することが可能となる。

アセスメントにおいても、支援協力者が何名いるのか、訓練もできたら良いと聞いているため、その計画で進められると良いだろう。

避難行動要支援者名簿登録などを活用する。民生委員は、災害時は避難することとなっている。被災後の確認などにおいて活動していただける人もいる。また、災害時前の段階でご協力いただけることはある。民

生委員は個々の支援者として見込むのではなく、地域と繋がっていくときの窓口として考える。調査票と一緒に作成する。その他の欄に、ご本人の特徴などについて記載する部分を、モデルケースの方と一緒に記入していくこととする。その他の箇所に書ききれない場合には任意の欄に記入するものとする。市に申請後、こちらで作成した計画がそのまま電子化したものが戻ってくる。

3. 情報交換

避難時に、何名の支援者がいるか、民間の企業やビルなどには事前に同意を得ておく必要もある。業務時間内に避難に向けた他事業所への協力要請や、利用者への声掛け等を行うことが出来るような対応は可能だろう。
モデルケースの居住地によっては、ため池のハザードマップも確認しておくのもよいだろう。

4. アセスメントシート共有

香川県の相談支援のケアマネジメントで使用されているもの。
避難行動要支援者名簿や計画にて記載する内容とのリンクやより詳細な記載内容等についてより留意する内容を記載する。
すでにあるアセスメントシートに、災害時の避難等における支援を加えることによって整理されたアセスメントを、申請書に記載することとする。
在宅想定でのアセスメントの視点だけではなく、夜間や通所や通学なども想定して、分けて考えておくことによって、ご本人やご家族においても、少しイメージできることもあるのでは無いと思われる。いろんなパターンを想定して聞き取ったり説明することがアセスメントを通して出来ると良いだろう。
実際に進めながら、追加した項目等があるとよいことなど情報共有しながら進めていけるとよいだろう。

5. その他

避難計画の様式は申請書。詳細な資料については添付するという計画。今後の検討を重ねながら、再度更新したものを提出する。コミュニティセンターでも申請受付しているが、障がい者団体との繋がりが全くないところも多く、実際にどのようにしたら良いのか分からないという実態がある。そのため、専門職がついてくると良いだろう。
地域の防災の取り組み情報についても集約し、ご本人様の状況と照らし合わせながら進めていけば良いだろう。

研修等企画計画書
(謝礼、旅費などの支払いが生じる場合にご提出ください)

作成者

部会名：医ケア部会

機関名：

氏名：

企画名
訪問看護職員研修
日時・場所
2023年9月4日(月) 13:00~15:00 対面+オンライン リハセンターAV会議室+ZOOM <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会の説明 15分 ・医ケア児コーディネーターについての説明 10分 ・医ケア児の訪問看護について-注意すべき点や相談できるところなど 20分 ・医療的ケアが必要な障がい児の保護者より 40分+質疑応答 5分 合わせて 45分 ・訪問看護ステーションからの意見など 30分
主な参加者・人数
市内の医ケア co.を取得している訪問看護職員 20人まで
講師氏名及び所属事業所等
医療的ケアが必要な障がい児の保護者 氏
支払い金額(源泉徴収前)
謝礼) 上記1名分 旅費) なし <p style="text-align: center;">謝礼・旅費については規程に沿って決定し、事務局から担当者にご連絡させていただきます。</p> <p>* 資料は参加者等に事前送付にて印刷費不要</p>
企画の目的
<p>医療的ケア児者、重症心身障害児者が在宅で生活をしていく上で、訪問看護師の存在意義は大い。在宅や地域での生活を継続し、心身の状態をよりよいものにできるよう、看護の質を高めていく研修の機会を持つ。その第一段階として、医療ケアを行っている障がい者の母から、訪問看護師に期待することや、在宅生活での不安などをお話していただき、対象者や家族の思いを知る研修を行う。</p>

地域生活支援拠点等の整備について

障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、**居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり）**を、地域の実情に応じた創意工夫により整備し、障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築。

●地域生活支援拠点等の整備手法（イメージ） ※あくまで参考例であり、これにとらわれず地域の実情に応じた整備を行うものとする

各地域のニーズ、既存のサービスの整備状況など各地域の個別の状況に応じ、協議会等を活用して検討。

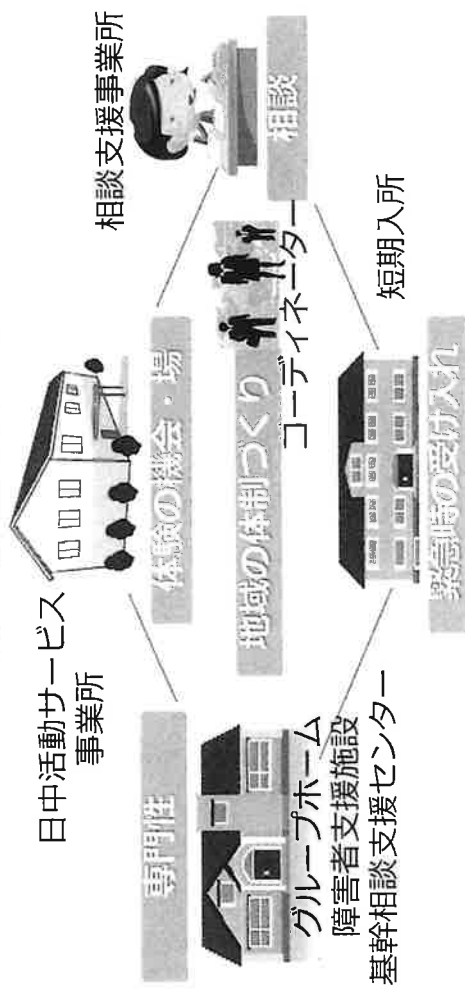
市町村（圏域）

- ① 支援者の協力体制の確保・連携
- ② 拠点等における課題等の把握・活用
- ③ 必要な機能の実施状況の把握

多機能拠点整備型



面的整備型



バックアップ

都道府県

- ・ 整備、運営に関する研修会等の開催
- ・ 管内市町村の好事例（優良事例）の紹介
- ・ 県庁や課題等把握 仕方

【令和5年度 高松圏域自立支援協議会 運営事業予算管理表】

■収入の部

項目	予算
1 委託料	1,000,000
合計	1,000,000

■支出の部

No	部会名	予算	支払額	予算との差額	消化率	科目別予算内訳					支払内訳	
						報償費	旅費交通費	消耗品費	印刷製本費	通信運搬費		委託費
1	就労支援部会	59,500	0	59,500	0%	0	0	0	0	0	0	雇用セミナー開催、ごほうび券たがまつり、研修謝金
2	精神保健福祉部会	55,000	0	55,000	0%	0	0	0	0	0	0	ピアサポート謝金、資料印刷代、書類郵送代
3	相談支援部会	55,000	0	55,000	0%	0	0	0	0	0	0	西島出張旅費、研修費用
4	身体障害者支援部会	40,000	0	40,000	0%	0	0	0	0	0	0	起業車検検閲費、講演会、その他雑費
5	知的障害者支援部会	50,000	17,910	32,090	36%	8,990	0	0	8,680	240	0	研修関連印刷代（懇話会・強要行動）周知活動印刷（強要行動）即会資料印刷
6	発達障害部会	15,000	0	15,000	0%	0	0	0	0	0	0	研修会資料印刷代、郵送料
7	こども部会	20,000	0	20,000	0%	0	0	0	0	0	0	会場費、資料印刷代、西島交通費等
8	医療的ケア部会	10,000	168	9,832	2%	0	0	0	0	168	0	フォローアップ研修費用、資料印刷代
9	居宅サービス事業所連絡会	43,260	0	43,260	0%	0	0	0	0	0	0	即会資料印刷、講師謝金、郵送代
10	当事者団体・家族会連絡会	55,000	4,687	50,313	9%	0	0	1,463	620	2,604	0	検討会実施経費
11	B型事業所連絡会	30,000	0	30,000	0%	0	0	0	0	0	0	会場費、資料印刷代
12	事務局	395,000	135,429	259,571	34%	48,715	0	960	0	280	85,474	ネット関係固定費、文書等、運営委員委託金、SV関係費
13	調整金	172,240	0	172,240	0%	0	0	0	0	0	0	調整金
	合計	1,000,000	158,194	841,806	16%	57,705	0	2,423	9,300	3,292	85,474	0